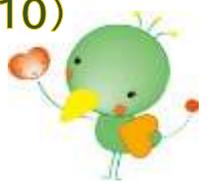




医療福祉の地域創造会議 通信 第117号



第114回ワーキンググループ会議 (R5.9.28)

「外国人介護人材 ～滋賀県の外国人介護人材～」

●話題提供者

(一社) 滋賀県介護老人保健施設協会

滋賀県国際介護・福祉人材センター センター長 東 宗樹 さん

●外国人介護人材

PIDUT CHERRY ANN REBUTA さん

胡 又菱 (コ ヨウリン) さん



CHERRYさん コさん

外国人介護人材を雇用することで・・・

○安定した人材確保ができる

○一緒に働くことで、日本人指導者・従業員のスキルも向上

外国人介護人材についての採用方法(制度)

- ・EPA (経済連携協定)
- ・留学制度 (介護専門学校等)
- ・技能実習制度
- ・特定技能
- ・在留資格 (家族等が日本人、日本人3世等)

重要なのは、**介護福祉士の資格を取得**してもらうこと!

それぞれの制度の特徴を理解したうえで、**将来的にどのような雇用で進められるか**によって、どの制度を利用するか選択することが大切



- 各国の情勢を検討して国を選ぶ
- 信用ある管理団体・送り出し機関を選ぶ
- 基礎学力も重要



9月は、滋賀県内の介護・福祉分野の事業所へ技能実習・特定技能・留学を通じた外国人介護人材の受け入れを支援されている〈滋賀県国際介護・福祉人材センター〉の東さんから、受け入れる側としての心構えや、受け入れてからの問題や取り組み等について話題提供をしていただきました。また、2名の外国人材の方からは、やりがいや自国との違い等についてお聞きしました。

日本の介護人材は減少していく状況にあり、このままでは、利用者の生活や地域の福祉を守ることは大変難しい状況になる。今までの常識を変え、外国人雇用が当たり前になり、外国人介護人材を育てられる業界にならなくては乗り切れない。

外国人材は明確な目標を持って働いており、コミュニケーション能力が高い人が多い。

介護福祉士は在留資格になっており、訪問系の仕事もできる。また、家族を日本に呼ぶこともできるので、他の在留資格より有利。

介護福祉士の資格を取得できる仕組み作りを県全体で考えることが、介護の分野では非常に重要だと思っている。



東 宗樹 さん

参加者の声

- ・介護人材の不足への対応として、外国人介護人材の採用が必要である中、諸外国との競争となっており、日本は不利であることを聞いて危機感を感じた。日本だけでなく、世界から滋賀が選ばれるよう、頑張らないといけない。
- ・報酬が海外に比べても低い、仕事内容に見合っていないことが不利条件なのでは。介護保険制度の縛りはあるが、なんとか報酬をあげていけないだろうか。
- ・受け入れている施設も外国人材の方も、介護福祉士の資格取得を希望している。言葉や文化の壁があり、施設でいろいろと工夫しているもののノウハウがなく、どうしていけばいいのかと悩むことが多い。施設間やそれ以外のところも巻き込んで、勉強の仕方やテキストの選び方などを共有できる枠組みができると良いと思う。
- ・日本人にとっても働きやすい環境をつくるのが大事。

- ・外国人の考え方や意見を取り入れて、より良い介護サービスを提供できると良い。
- ・外国人介護職員は笑顔がとても良い。明るく陽気なところは日本人になく、とても良いと思う。
- ・日本人であろうと外国人であろうと、心と心を通わせたコミュニケーションや、相手を気遣うことが大切。
- ・滋賀県で働いてもらうために、職場のアピールに加えて、自然豊かな滋賀の魅力を本人や両親に発信していかなくては。
- ・東南アジアに限らず、外国人材をどんどん日本の介護職、看護職で受け入れていくべき。今後は、訪問介護などどう対応していくかが課題。いろいろなサポートが必要になってくるのでは。
- ・病院の看護職への外国人の受け入れは、病院単独では難しい。生活のサポートをしてくれるところとの連携が必要。

当会議立ち上げのときからご尽力いただいている、参議院議員の嘉田由紀子さんも出席されました!



日本では過去30年間賃金が上がっておらず、国政では、すべての産業領域で若い世代の賃金、初任給を2倍にすることを議論している。若い世代の収入が増えると消費も増え、内需も高まり、少子化問題や人材不足の問題も改善される。また、海外からも若い人を呼びやすいと国政でも議論しているので、ぜひ働く現場からも声をあげていただきたい。



嘉田 由紀子 さん

【次回ワーキンググループ会議】

- 日時：令和5年10月26日(木) 18:30~20:00
- 場所：滋賀県庁新館7階大会議室 (Web可)
- テーマ：「大津市での在宅療養サポートチーム構想 (hST: home care support team) ~多職種連携から異職種連携へ~」
- 話題提供者：西山医院 理事長・院長 西山 順博 さん



「滋賀の医療福祉を守り育てる」県民フォーラム

- 日時：11月18日(土) 11時~16時30分 (スタンプラリー参加受付 16:00まで)
- 場所：イオンモール草津 2階イオンホールおよびインキューブ横
- ゲスト：滋賀県住みます芸人 「ファミリーレストラン」

今年は事前申込不要!
音楽ライブ、クイズ大会、健康チェック、スタンプラリー、抽選会など楽しい企画が盛りだくさん♪
お買い物のついでにどなたでも参加していただけます。
楽しくイキイキと生きるために、毎日を元気に過ごすコツと一緒に学びましょう(*'▽')

医療福祉の地域創造会議 事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

Tel 077-528-3529
e-mail info@chiikisouzoukaigi-s-higa.jp